

授 業 科 目 の 概 要

令和4年度社会教育主事講習

科目名	ねらい	内容・テーマ	講義等の内容	備考
生涯学習論	生涯学習及び社会教育の本質について理解を図り、生涯学習・社会教育の意義など教育上の基礎的知識を身につける。	生涯学習振興施策の動向	未定	
		社会教育の意義と展開	この講義では、生涯学習や生涯学習社会に果たす社会教育について、基礎的、基本的事項を解説する。具体的には、生涯学習と社会教育にはどのような関係があるか、学校教育と対比してどのような特徴があるか、生涯学習の支援において社会教育にはどのような意義があるか、社会教育の活動にはどのような内容があるか、などを検討する。これらの理解を通じて、社会教育の意義を理解することが、本講義のねらいである。	
		社会教育に関する法令	この講義では、生涯学習・社会教育を推進する上での法的基盤となる、日本国憲法・教育基本法・社会教育法・生涯学習振興法等を中心に、生涯学習・社会教育の法制度と内容について解説する。これらの法律に基づく社会教育行政の意義、仕組みと役割とともに、生涯学習振興行政の役割を理解することが、本講義のねらいである。	
		生涯学習社会と家庭教育	会場に足を運ばずに学びの場を提供できる「オンライン講座」。コロナ前よりいち早く取り入れていた「ゆめサボママ@ながの」の事例を紹介します。そこから今後の学びの場の作り方について考えていきます。	
		社会教育主事・社会教育指導者の役割	社会教育主事・社会教育指導者の役割や身に付けておくべき資質・能力は厳密に定められているわけではない。そこで本講義では、予測困難な社会における社会教育関係者の役割を「機能」として捉え直し、多様な機能の組合せによる役割の遂行について検討する。内容が抽象過ぎることのないように、受講者の具体的なイメージを引き出しつつ、納得解を導き出していく。例えば、社会教育主事にはコーディネーションやファシリテーションを、社会教育指導者にはリーダーシップやマネジメントを、それぞれの場面で考えてもらえるように講義設計をする。	
		生涯学習社会とコミュニティ・マネジメント	生涯学習社会におけるコミュニティ・マネジメントとは、地域教育経営（社会教育経営）の側面と地域学校協働の精神を踏まえた学校教育経営の側面とがある。地方創生や持続可能な社会づくりにおいて、地域を基盤とした教育理念の再検討は重要な行為である。教育を巡る国際的な動向も押さえつつ、国際社会の中でこれからの若者がどのような能力を獲得し、それを発揮していくことを見通すか、受講者とともに考えていく。大人も子供も区別されることなく、学びのコミュニティの一員であることを、コミュニティ・マネジメントとして再定義したい。	
		成人期の学習の理解	子どもと大人では、身体的発達状況だけでなく、生きてゆくうえでの社会的・文化的・心理的な諸条件も様々に異なる。生涯教育の考え方が広まってゆくと、そうした成人期に特有の前提を踏まえた学習支援の在り方を探る必要が認識されるようになった。授業では、成人期の基本的な意味を確認したうえで、成人期の学習や成人学習者について理解するための視点や考え方について解説する。	
		生涯学習論の生成・発展	「学習」に焦点を置いて教育制度や社会システムについて検討する議論が生涯学習論である。現行の教育基本法第3条は「生涯学習社会」の構築を謳っているわけだが、その在り方や方向性を考えるための基礎となるのがこの議論であると言える。授業では、生涯学習論が由来するところの生涯教育の考え方について確認したうえで、生涯学習論が展開してきた経緯について、特に1970年代から1980年代の流れを中心に解説する。	

		特色ある社会教育指導者の活動	未定	
		生涯学習社会と学校教育	・生涯学習と家庭教育を含めた地域社会の教育及び学校教育との相互関連のあり方を概説すると共に、社会に開かれた教育課程の実現をめざした学校と地域の連携・協働について考える。	
		現代社会と生涯学習	情報・技術革命やそれに伴う社会変化、さらには人類が直面する新しい社会課題などにも対応し、これからの生涯学習・社会教育の役割を哲学的・社会的に再検討し、今後の生涯学習のあり方をあらためて考える。	
		生涯にわたる学びの哲学	生涯にわたる学びについて考えるうえで示唆となる考え方や作品をもとに、生きることと学ぶこととの関連性について理解を深めることを試みる。	
		情報化社会における生涯学習	生涯にわたり、学び続けることと学校教育で展開されているGIGAスクール構想や社会教育における情報化とそのインフラがどのような関連性にあるかを理解し、深めることを試みる。	

授 業 科 目 の 概 要				
令和4年度社会教育主事講習				
科目名	ねらい	内容・テーマ	講義等の内容	備考
生涯学習支援論	学習者の多様な特性に応じた学習支援に関する知識及び技能の習得を図り、学習者の特性に応じてプログラムを構築する学習環境設計能力を身につける。	生涯学習を支える情報通信技術	汎用的なクラウドサービスを活用しネットワーク上で対話的・協働的に多様な他者と学ぶことを通して、人生100年時代のなかでいついかなる時にも学ぶことができる環境づくりや学習方法のあり方について考え、教える側・学ぶ側の立場に立ってそれぞれに取り組むことができるための実践的な活動を行う。なお、本講座ではGoogle Workspace for Educationを使用する。また、無線LAN接続可能なノートパソコンやタブレット端末を持参すること。	
		学習支援に関する教育理論	この講義では、生涯の中でも、特に成人と高齢者の学習支援を取り上げ、それが依拠する成人教育学（アンドラゴジー）と高齢者教育学（ジェロゴジー）について解説する。成人や高齢者の教育・学習と子どもの教育・学習（ペダゴジー）との比較を通じて、成人教育学と高齢者教育学の基礎と、それを学習支援の中でどのように具現化するとよいかを理解することが、本講義のねらいである。	
		参加型学習の実際とファシリテーション技法	本講義では、生涯学習支援における参加型学習の意義の理解を前提として、参加型学習支援に関わる実践的手法の活用を試みる。具体的には、グループシミュレーションゲーム「クロスロード」を用いて、社会教育施設の実際の課題やまちづくりに関する課題を事例とした意思決定と対応のあり方について、実践的な活動と協議により検討を行う。課題解決に向けた参加型学習支援のファシリテーション技法の理解を深め、その活用への意欲を高めることが、本講義のねらいである。	
		野外活動による生涯学習支援	自然の家において展開される活動を経験し、理解するとともに、国立青少年教育振興機構が実践する学校・地域・家庭と連携した生涯学習支援方法について学ぶ。	
		効果的な学習支援方法	昨今の教育動向を踏まえ、探究的な学習に関する諸理論について講義する。また、オンラインツールを活用したグループワークを通して社会教育と学校教育の差異に着目しながら効果的な学習支援の方法についてディスカッションし、学習者の多様な特性に応じた効果的な学習支援についての知識及び技能の習得を目指す。	
		図書館を利用した学習支援方法	未定	
		学習プログラムの編成と実践 -ESDについて-	持続可能な開発のための教育（ESD）に関する社会的背景や、基礎的概念について講義する。また、SDGsのとの関連について示しながら社会教育だけでなく学校教育における学習プログラムの事例について触れ、長期的展望に立った人間形成を目指す教育活動を支え、実現する上で必要な知識・技能を得ることを目指す。	
		学習プログラムの編成と実践 -環境教育とESD-	ESDの観点から環境問題の重要性と具体的な取り組みについて理解させる。	
		学習プログラムの編成と実践 -善光寺文学散歩-	善光寺界隈の門前町の風物や歴史的遺産を散策しながら、文学的な散歩を体験する。	
		生涯学習を支えるカウンセリング	生涯学習支援に役立つカウンセリングの基本技法について概説し、実際の技法使用事例を通して理解を深めさせる。	

授 業 科 目 の 概 要				
令和4年度社会教育主事講習				
科目名	ねらい	内容・テーマ	講義等の内容	備考
社会教育経営論	多様な主体と連携・協働を図りながら、学習成果を地域課題解決や地域学校協働活動等につなげていくための知識及び技能の習得を図り、 ①社会教育行政の戦略的展開の視点に立った施策立案能力 ②多様な主体との連携・協働に向けたネットワーク構築能力を身につける。	社会教育行政と地域活性化	学校の教育課程を除く「組織的な教育」である社会教育は、地域においては地域活性の基盤となる人の育ちに関わります。2120年度から2021年度にかけて長野県生涯学習推進センターが主催した「地域づくりの支え手入門講座」を例に、地域活性化を支える社会教育行政の役割について考えます。	
		社会教育を推進する地域ネットワークの形成	今、人口減少が進み生活困窮や社会的孤立が広がるなかで、多様な分野の組織・団体が協働して「学びと自治」の力を発揮していくことが期待されています。福祉分野が取り組む「地域共生」の実践、コーディネーターの増員、活動拠点やネットワークづくりを題材にしながら、持続可能な地域づくりに向けたネットワークの活用方法や分野を超えた連携のポイントなどを考えます。	
		社会教育経営の原理	「社会教育経営」という言葉は、社会教育研究においても、あるいは社会教育の現場においても用いられてこなかった、新しく未成熟な概念である。そのため、「社会教育経営」の在り方について考えるためには、これまでの社会教育の社会教育研究の蓄積を踏まえつつ、「社会教育経営」という概念を吟味して行く必要がある。この講義では、「社会教育経営」について考えるための基本的な視点を獲得することを目指す。	
		社会教育施設の経営戦略	社会教育施設の意義やその役割を理解するために、その一つである博物館について、長野県立歴史館を例として、理念や基本目標、具体的な事業やその評価方法などについて説明する。さらに経営戦略として、県立歴史館が重点事業として取り組んでいる、地域や自治体との連携、企業連携などについて、実践例を紹介し、社会教育施設の経営についての理解を促す。	
		社会教育を推進する地域コミュニティの形成	未定	
		学習課題の把握と広報戦略	社会教育においては、いかに住民の生活に根差した社会教育実践に取り組めるのが課題となる。この講義では、社会教育実践の中核的な内容である学習プログラムの編成（社会教育内容編成）に関する基本的な概念と、社会教育と住民をつなぐ上で重要な役割を果たす広報についての基本的な概念を解説する。そのことを通じて、人びとの生活に根差した社会教育実践を追求する上で必要となる基本的な視点を獲得することを目指す。	
		学習成果の評価と活用の実際	社会教育実践をより豊かなものにしていくために、社会教育専門職に求められるものの一つが、評価である。一方で、社会教育における評価は、社会教育研究においては、必ずしも十分な蓄積がされてこなかった「未開拓」ともいえるような分野でもある。この講義では、教育における「評価」とはどのような意義を持つものなのかという基本的な部分をおさえた上で、社会教育における評価と活用のあり方について、基本的な視点を獲得することを目指す。	
		社会教育における地域人材の育成	佐久市公民館の具体的な事業内容を例として以下3点について学ぶ。 ①各年代の学ぶ意欲を支え、地域文化の担い手を育てる公民館の役割 ・市民大学 ・地域の大学との連携 ・学習グループの活動 等 ②地域課題の解決につながる講座の設定と具体 ・地域資源を生かしふるさとへの誇りを高める実践 等 ③公民館の課題と未来への展望について ・市民対象アンケート調査の結果と公民館運営審議会の意見から	
		社会教育施設の経営戦略の実際	社会教育の対象の理解と社会教育における地域人材の育成および地域ネットワークの形成について概説すると共に、厳しい予算状況のなかでより良い社会教育事業を展開するための社会教育施設の計画・運営・経営戦略について理解させる。	

		社会教育行政の経営戦略 I	多様な主体と連携・協働を図った取組事例を概説することで、その意義について理解させる。	
		社会教育行政の経営戦略 II	新潟県の生涯学習・社会教育行政の概要について理解を深めさせ、今後の社会教育行政における多様な主体との連携や協働による環境づくりについて考える。	

授 業 科 目 の 概 要

令和4年度社会教育主事講習

科目名	ねらい	内容・テーマ	講義等の内容	備考
社会教育演習	社会教育主事の職務を遂行するために必要な資質及び能力の総合的かつ実践的な定着を図り、 ①地域課題や学習課題などの把握・分析能力 ②地域住民の自主的・自発的な学習を促す学習支援能力を身につける。	社会教育に関する現場体験（現地巡検）	未定	
		社会教育に関する実践演習（グループワークと発表）	これまでの社会教育主事講習の内容を踏まえ、自らの活動地域の地域資源を活かした、持続可能な社会の実現に向けた社会教育施設（公民館等）のESD活動を立案する。立案内容をプレゼンテーションし意見交流をした後、レポートにまとめる。これらの演習を通して、社会教育主事の職務を遂行するために必要な資質及び能力の総合的かつ実践的な定着を目指す。	
		社会体育に関する実践演習	社会教育事業としての体育的活動やレクリエーション活動の在り方について理解し、現状と課題について考えます。また、多様化した地域社会に必要とされる体育的活動やレクリエーションを実践的・体験的に学ぶとともに、グループワークを通して運動およびスポーツの新たな可能性について検討します。時代の変化に対応した多世代交流・共生の取り組みについて考え、地域社会を支える人材育成を目指します。	